



ゆり組たより

令和5年2月20日 ことり保育園 担当熊澤



保育園生活も残すところ、1ヶ月となりました。

活動にも卒園式の練習が入り、今までのことを思い出す機会も増えました。ほんの少し淋しさを見せつつも、小学校生活に期待している子どもも達です。

戸外遊びでは、以前お知らせしていた、ワラズで大縄跳びをしたし、
「ホックソ」を使ったグループソレーや花いちもんめなど「みんな」で遊べる物を行なうようになりました。

年長になると、一度ルールを教えたらずども達同士で伝え合い更に遊びを
発展させようとしていて、見守っている保育者たちも、その発想に驚かされる
ことがあります。

また、「相撲、知ってる？」と問い掛けると、「知ってる！ やりたい！」と。
保育者が場を用意すると、早速③「勝った人が残っていいの。」と
「ゆりさんルール」を作り出していました。



「僕が最初にやる。」と一人の男の子が円の中に入り取組がスタート。

何人かの男の子が挑戦しましたが最初の子が強く勝ち進めしか...

ということで、入れ替わりしませんでした。すると、「私がやってみる。」と一人の
女の子が挑戦しました。怪我に繋がらないようにそばで見守っておりますと
見事、挑戦者が勝ちました。「わあー!!!」という歓声の中グッと

ガッツポーズを見せた子は、なんとその後、14勝もしました。

勝負を見守る子ども達も「その子に勝ちたい」という気持ちは、「どこまで勝ち続けるか
見たい」という思いとで熱い時間を過ごしました。

思い出がタクくなる度、おど一緒にいたいという思いも大きくなっていますが
だからこそ、一日一日を大切にしていきたいです。